



いよいよ梅雨に入り、もう 7 月、本校では七夕の竹飾りが登場します。今年度は県高 P 連の相模原地区理事校の役があり、この時期 PTA 関係の総会等が続き毎週末は飛び回っています。そこで、今回は相模原市内高校生の活躍を紹介します。

## 私たちも参画します！

### 緑区高校生区民会議開催

相模原市緑区役所区政策課による、高校生区民会議が 6 月 21 日サン・エールさがみはらで開催されました。参加校は相原高校、相模原城山高校、津久井高校、橋本高校の 4 校生徒計 18 名が参加、各校のメンバーが偏らない様 3 グループに分け、区の職員と区民会議委員さんがコーディネーターとして加わり、「緑区の魅力発信の手法」「緑区がどうあれば住み続けるか、どうなれば住みたいか」をテーマにグループワーク形式で、最後にまとめを生徒が発表する形で進められました。



日頃顔を合わせたことのない生徒同士が緊張の面持ちで始まりましたが、コーディネーター役の皆さんが緊張を解しながら意見を出しやすい雰囲気を作り、お互い言葉のキャッチボールが出来るとう生徒達から街の魅力、今困っていること、自分が発することで街の見え方が変わるかもと言う期待感から活発な意見が飛び出しました。「豊かな自然、水がきれい、野菜果物が美味しい。」「キャンプが出来る。」「ホテルがいる、都市と自然どっちもある。」情報発信方法では「SNS で発信、インスタグラム、歩ける地図を作る、自然を使った体験、電子パンフレット作成（私たち紙は見ない）、ショート動画制作、学生に宣伝をさせてみる。」住みたい街づくりでは「運動場を増やす（区の面積は広い）、自然を活用した体験型イベントを増やす、街路樹の種類を増やして歩くのが楽しくなる様にする、交通網を増やす。」他にも沢山の発言がありました。



生徒達からは他校の生徒や大人の方と話し合うことがとても楽しかったのでも是非また参加したい。と感想がありました。緑区として初の試みで、若い世代の意見を聴取する場として大きな意味があったと思います。中央区、南区でも以前同様な企画がありました。是非再開していただきたいと思います。高校生は熱い！